

地域 みんなで子どもを育てる

学校支援ボランティア活動 実践ハンドブック

(ボランティア用)



鳥取県教育委員会

目次



はじめに	1
学校支援ボランティアとは	2
学校支援ボランティアの効果	3
あなたにもできる! 学校支援ボランティア	4
活動始めるにあたって	5
活動の約束ごと	6
よりよい学校支援ボランティアのために	7
学校支援ボランティアの活動内容	8
学校支援ボランティアの活動例①	9
学校支援ボランティアの活動例②	10
学校支援ボランティアの活動例③	11
活動メモ	12

はじめに

未来を担う子どもたちは「地域の宝」です。しかし、少子化、核家族化や社会構造の変化などにより、子どもたちが学校や家族以外の大人と関わる機会や地域とのつながりが少なくなっています。

このため鳥取県では、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てることを目的とした学校支援ボランティア事業を推進し、子どもたちの生きる力や豊かな心を育む取組を進めています。

学校支援ボランティアは、子どもたちの教育のために役立ちたいという思いがあれば誰でも参加でき、できる人が、できるときに、できることを行う活動です。県では、多くの皆さんがボランティア活動に参加され、子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができるよう、このハンドブックを作成しました。

このハンドブックを参考にして活動していただくことにより、子どもたちや学校、ボランティアの方や地域がさらに元気になっていくことを期待しています。

学校支援ボランティアとは

学校支援ボランティアとは、学校の要望に応じて地域の方々がボランティアとなって学校を支援するしくみで、いわば、「地域につくられた学校の応援団」です。

例えば、生活や学習の支援、環境整備、登下校時の見守りなどを行います。

学校支援ボランティアを進めることによって、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりができます。また、地域の方々の知識や技術、経験を生かす場にもなったり、活動を通して人のつながりも生まれ、地域の教育力も向上します。

学校支援ボランティアは、できる人が、できるときに、できることを自らの意思で主体的に行うことが基本です。

学校支援ボランティアのしくみ

学校



どのような人材がどんなときに必要かを教職員で話し合い、支援を要請します。



地域コーディネーター

学校からの要請を受けて、学校支援ボランティアの中から内容にあった人を探して学校に派遣します。



地域住民



登録

学校支援ボランティア

学校環境整備、学習支援、読み聞かせ、登下校の安全パトロールなどの活動を行います。



学校支援ボランティアの効果



子どもたちにとっては

- ボランティアの多様な知識や経験により、多様な体験の場が増え、子どもたちの学習に対する興味や関心が高まります。
- 地域の大人たちとの交流により、コミュニケーション力や社会性が育ちます。
- 周りの人への感謝の気持ちや、地域への愛着が深まります。

学校・教員にとっては

- 家庭や地域との連携が一層深まり、開かれた学校づくりを進めることができます。
- 学校の環境整備が進んだり、校内、通学路の安全性が高まります。
- ボランティアが手伝えることにより、教員にしかできない子どもの指導等により多くの時間を充てられるようになります。

ボランティアにとっては

- 身につけている知識や経験を生かせ、地域に貢献しているという満足感が得られます。
- 一緒に活動することにより、仲間が増え、生きがいづくりにもつながります。
- 学校内はもとより、学校外でも子どもたちとあいさつをしたり言葉を交わすようになり、元気がもらえます。

～あなたの力を学校に～

あなたにもできる！
学校支援ボランティア



どんな人がやっているの？

ボランティアは特別な資格がなくても、子どもたちが健やかに育ってほしい、子どもを温かく見守りたい、という気持ちがあれば大丈夫です。地域に住んでいる方や保護者などがボランティアを行います。高齢の方や大学生のボランティアも大歓迎です。

子どもが大好き
です

特に資格は持って
いないけど、やる
気はあります

子どもを温かく見
守る気持ちがあれば
大丈夫です

児童・生徒の
祖父母(GTA)
も活動できます

保護者大歓迎！
保護者でなくて
も地域に住んで
いる方なら大丈
夫です

これまで培った
経験や趣味を生
かしたいと思っ
ていました

何が、学校や地域の役に
立てることがあれば、う
れいです

将来のためにボラ
ンティアを経験し
てみたい(大学生)

活動を始めるにあたって



- 各学校でボランティア登録をしていただきます。
※登録の変更や取消しも可能です。登録方法は各学校におたずねください。
- 学校の要請に応じて活動していただきます。
- 各学校には、学校と地域（ボランティア）を結ぶコーディネーターがあり、学校支援ボランティアについての説明を聞くことができます。

基本的な学校支援ボランティアの流れ(例)



学校

こんな活動をボランティアに
お願いしたい

ボランティア

子どもたちや学校のために
ボランティア活動したい

コーディネーターに相談

ボランティア活動の決定

事前の打合せ会の実施

ボランティア活動の実施

ボランティア活動のふりかえり

次のボランティア活動



活動の約束ごと



子どもたちの教育にはじめてボランティアとして関わる人たちのための約束事を確認しておきましょう。

守らなければならないルールがあります

- (1) 記名や名札の着用、職員室への声かけなど、来校時の学校のルールを確認し、しっかりと守りましょう。
- (2) 活動の中で子どもや先生の個人情報にふれることがありますが、子ども一人一人を大切にするために、自分の家族などにも秘密を話さないようにしましょう。
- (3) 学校や先生、他のボランティアの批判などは、子どもの前でも、学校以外でも絶対に話さないようにしましょう。気がついたこと、気になることは、気軽にコーディネーターや学校の先生方に伝えましょう。
- (4) 決められた日課にそって学校での教育は行われます。指定された時間に指定された場所に集まっておくことは当然ですが決められた時間内に終了することも心がけてください。

子どもたちとのよりよい接し方

- (1) どの子にも公平に接し、子どもの声にしっかり耳を傾けましょう。
- (2) おおらかな気持ちで接し、子どもたちの良いところをほめましょう。
- (3) 丁寧な言葉遣いで、はっきり、ゆっくりと話すよう心がけましょう。



よりよい学校支援ボランティアのために

相談のすすめ

子どもたちとの関わりの中で、困ったことやわからないことがあるときには、気軽に担当の先生や教頭先生に相談しましょう。

特に、落ち着きがない子どもや反抗的な子どもなどとの接し方を先生に学ぶことによって、子どもたちとよりよい関係をつくることができます。

また、相談することで、先生とのコミュニケーションも図れます。

事前の打ち合わせ、ふりかえりを大切に

事前の打ち合わせには時間を要しますが、効果的な活動を行うためには欠かせません。学習のねらいや流れ、ボランティアの出番（どこで、なにを、どんなふうに、何分くらい）などについて話し合しましょう。

また、活動後のふりかえりも大切です。気づいたことを先生やボランティア同士で共有することによって、次の支援活動がさらに充実します。

※打合せ用紙、ふりかえり用紙が作ってあると便利！！

研修会参加で新たな発見

研修会に積極的に参加して知識を高めたり、交流会などでお互い情報交換をしましょう。

県や市町村が主催する講演会、フォーラム、報告会などが開催されます。これらに参加することで、ボランティアをしていく上での新たな知識や技能を得たり、疑問や課題を解決する機会となります。また、交流会等でお互いの知識や経験を共有することによって、今後の活動に活かすことができます。

学校支援ボランティアの活動内容

ボランティア活動の実際

一日の学校生活の中の様々な場面で、学校の必要に応じた支援活動が実施されています。

<学校の1日(例)>

登 校

8:20~朝の自習
(職員朝会)
8:30~朝の会

8:45~1時間目

9:35~2時間目

10:20~業間休憩

10:50~3時間目

11:40~4時間目

12:25~給食

13:10~昼休憩

13:45~掃除

14:05~5時間目

14:55~6時間目

15:40~帰りの会

放課後活動
下 校

- 登校の安全指導、あいさつ運動
- 通学路の安全パトロール
- 朝の自習支援、読み聞かせ
- 低学年の学習準備支援 など

- 学習支援
 - ・学習に集中させるための補助(特に下学年)
 - ・書写の指導補助
 - ・実験の補助
 - ・調理実習、裁縫の指導補助
 - ・体験談、地域の歴史ミニ講話
 - ・体験活動の補助
 - ・英会話の指導補助
 - ・校外学習の引率支援
 - ・水泳等の指導補助 など

- 給食配膳指導補助
- 休憩時間の交流(遊び)
- 掃除指導補助 など

- 放課後の学習支援
- 放課後の文化活動支援
- 放課後の体育活動支援
- 下校の安全指導、パトロール など

<その他の活動>

- 環境整備……備品等の補修、清掃、花壇整備、植木剪定、図書室の環境整備と管理、ホームページの作成と管理
- 学校行事支援……行事の写真、ビデオ撮影、展覧会準備など

学校支援ボランティアの活動例

下学年学習・生活支援ボランティア

小学校では、下学年のなるべく早い段階で、学校生活への適応や基本的な生活習慣の定着を図ることが、落ち着いた行動、学習への集中に結びつきます。

- 授業への集中を促す声かけ
- 音読、九九暗唱の聞き手
- 問題が解けなくて集中できなくなった子への励まし
- 連絡帳をかくときの支援
- 給食準備補助、給食中の声かけ
- 清掃時補助、手順声かけ
- 下校時の安全配慮 など、

教室内で学習支援ボランティアが子どもたちの支援をすることによって学級担任が、学級全体の生活・学習指導に力を注げるようになり、子どもたちが落ちつき、学力の向上につながります。



詩の暗唱の聞き取り



算数のゲームを取り入れた活動



給食中の声かけ



かけ算九九の聞き取り

学習支援ボランティア



家庭科の指導支援



授業中の支援（声かけ）



校外学習支援



ゲストティーチャーとして

学校行事ボランティア等



文化祭準備や受付



運動会の踊りの指導



読み聞かせ



スキーの指導

部活動支援ボランティア



楽器指導



駅伝指導

登下校安全指導等ボランティア



あいさつ運動



除雪ボランティア

環境整備ボランティア



花壇整備



花の栽培



樹木の剪定



備品の修理



図書の整理・修理

～活動メモ～

活動をはじめる前に記入しましょう

1 学校に行く前に

(1) 日程調整

学校支援ボランティアとして活動する前に、まずはコーディネータと電話で連絡をして日程の調整をしましょう。

○コーディネータ

(氏名)	(連絡先)
(氏名)	(連絡先)

(2) 学校との打ち合わせ

簡単な打ち合わせをしましょう。

○学校のボランティア担当

(職名)	(氏名)
------	------

○学校の連絡先

(電話)	(FAX)
------	-------

2 学校に行ったら

(1) 学校の入り口は

--

自転車は、駐輪場にとめてください。自家用車でこられた場合は、職員室まで連絡してください。

(2) 職員室に寄っていただき、必ず担当者に声をかけてください。

(3) ボランティア控え場所は

--

※活動前や活動後にご利用ください。

ボランティアの感想

子どもたちとふれあうことができ、子どもと一緒に自分たちも楽しく活動でき元気をいただきました。

ボランティアを始めて18年になります。今では生きがいになっています。

土にまみれての子どもたちとの共同作業は何ものにも代えがたく、自分たちの誇りと喜びです。

ガーデニングが好きで、花壇整備のボランティアをしています。子どもたちが花いっぱい学校で生活するのは私にとってもうれしいことです。



子どもたちの学習支援をするために自分も事前に学習します。それが自分にとっても良い学びの時間になっています。

児童・生徒の感想

最初は緊張したし、ミシンを上手に使えるか心配だったけど、ボランティアの方にとてもわかりやすく説明していただき、上手に使えるようになりました。

地域の方と一緒に田植えや刈取りの作業をしましたが、収穫祭のとき、地域の方と楽しく話ができただけでも良かったです。

文化祭のとき、私たちが展示した部屋にボランティアの方がおられました。見守っていただいたり、雰囲気をごやかにしていただいたりして、とてもうれしかったです。



教職員の感想

学校行事や、授業への学習支援は、教員以外に支援者がいることで、児童への支援がきめ細かくでき、児童の意欲が高まったり、技能の習得が早くできたりしたようだった。

地域の方が学校に来られることで、先生・子どもたちとの交流を図ることができた。

書写や珠算において、児童・担任とも専門知識や技術にふれることができた。児童にとっては充実した授業となり、また担任にとっても指導の勉強になった。

地域みんなで子どもを育てる 学校支援ボランティア活動 実践ハンドブック

ボランティア用

鳥取県教育委員会事務局 小中学校課／家庭・地域教育課

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目271番地
小中学校課 0857-26-7915 / 家庭・地域教育課 0857-26-7520

HPから
様式及び活動事例等
ダウンロードできます。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/gakko-bora/>

学校支援ボランティアハンドブック検索

検索

平成24年2月発行